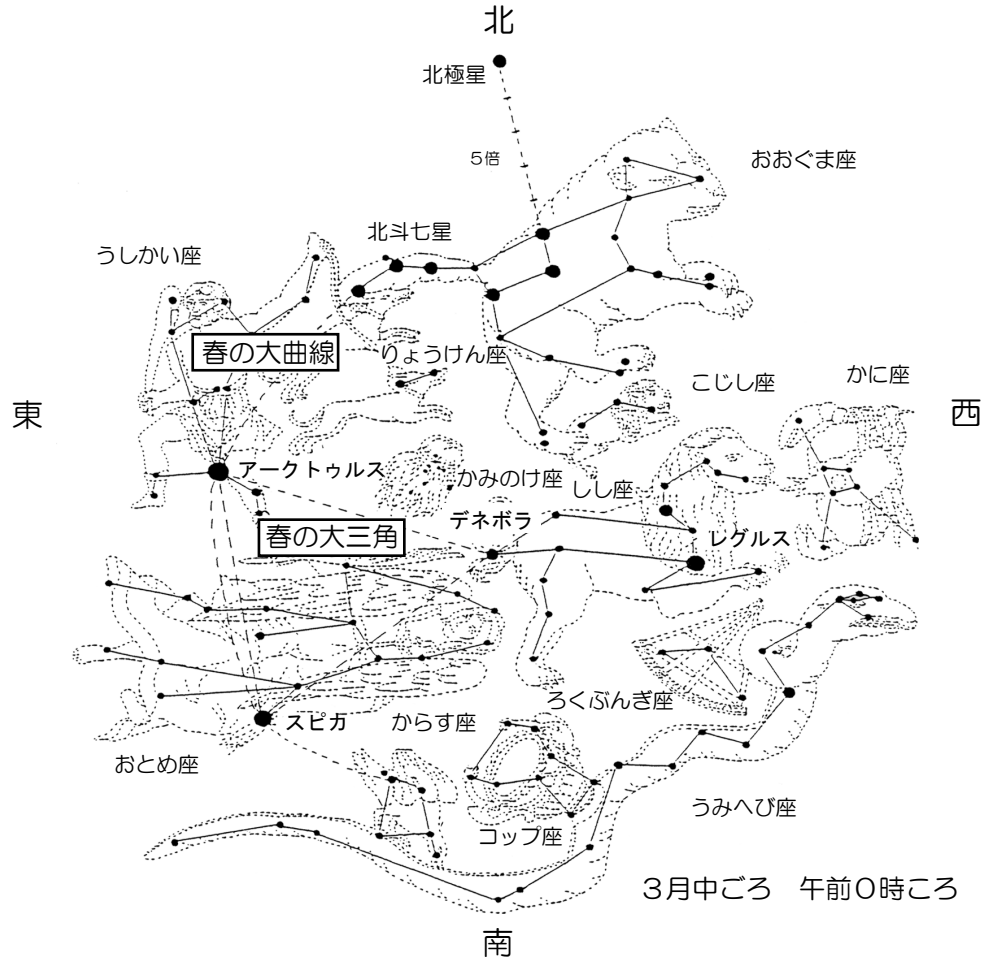


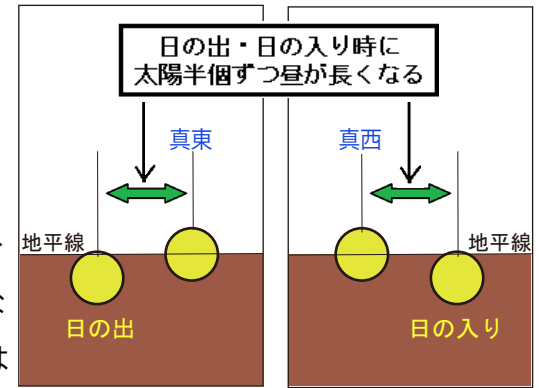
春の星座のを見つけかた



- 1 北の空で、北斗七星を見つけます。
- 2 北斗七星の柄のカーブを伸ばし、うしかい座のアルクトゥルス、おとめ座のスピカ、からす座と続く「春の大曲線」を見つけます。
- 3 アルクトゥルス、スピカ、しし座のデネボラでつくる「春の大三角」を見つけます。
- 4 しし座の頭から胸にかけての星を結んでできる、「？」を左右裏返しにした星の並びの一番下で輝く星がレグルスです。
- 5 星座の中でもっとも大きいうみへび座、2番目に大きいおとめ座、3番目に大きいおおぐま座を見つけることができると楽しいですね。

春分の日の日夜の時間は同じ？

3月21日は春分の日です。春分の日
 昼と夜の時間が同じ日と
 思っていませんか。今年の富山市中心部での3月21日の
 日の出は5時54分、日の入りは18時3分
 で、昼の長さは12時間9分となり
 ます。なぜ、12時間ではないので
 しょうか。理由は二つあります。
 一つ目の理由は、日の出と日の入
 りの言葉の定義です。図のよう
 に日の出は地平線に太陽の上端が
 見えた瞬間、日の入りは太陽の
 上端が地平線に隠れた瞬間です。
 そして、昼の定義は、日の出から
 日の入りまでの時間です。したが
 って日の出の時に太陽の半径分、
 また日の入りの時にも太陽の半
 径分、合わせてちょうど太陽1個
 分だけ昼が長くなるのです。二つ
 目の理由は、光の屈折の影響で
 す。地平線付近にある太陽から
 の光は、大気中を通過する際に
 屈折して私たちに届きます。こ
 のため、実際には地平線の下に
 ある太陽が、見かけ上、1個分
 ほど地平線の上に浮き上がって
 みえます。つまり、日の出と日の
 入り時を合わせて太陽2個分ほど
 昼が長くなり、一つ目の理由と
 合わせて合計で太陽3個分ほど
 太陽が動く時間だけ昼の方が長
 くなるのです。



星の色はなぜちがうの？

星(恒星)をよく見てみると、いろいろな色の星があることに気づきます。星の色の違いは、星の表面温度の違いです。温度が高い星は青白い色に、低い星は赤っぽい色に見えます。恒星で、一番明るいおおいぬ座のシリウスは約10000℃で青白く、さそり座のアンタレスは約3000℃で赤っぽい色に見えます。ちなみに、私たちにとって最も身近な太陽は約6000℃で、遠い宇宙から見ると黄色っぽく見えます。

